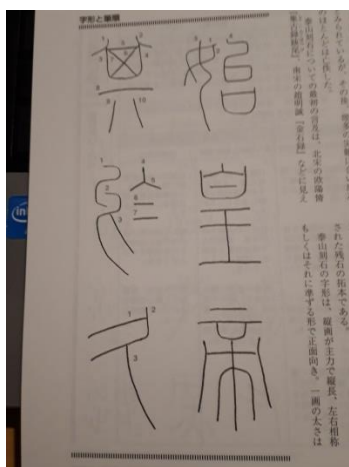


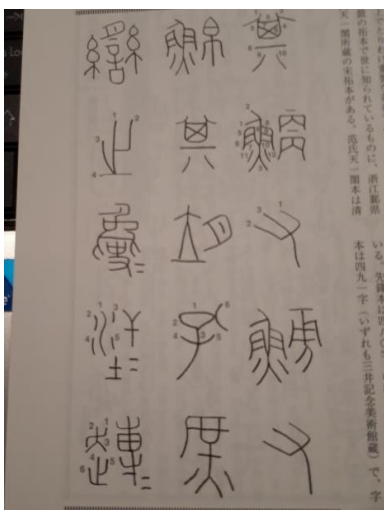
書道Ⅱ

書道Ⅰでは、楷書、行書、篆書、隸書、仮名と学習しました。書道Ⅱでは、さらに各書体を深く学んだり新たな草書なども学習していきます。2年生では、1年生の時に篆刻で学んだ篆書や隸書を深く学びます。そこで、まずは篆書の古典について、教科書P8～P9を参考にその変遷を調べてみましょう。以下の課題に取り組んで登校日に提出してください。

- ① 篆書の変遷について調べたことを書きましょう！
- ② 「泰山刻石」は、小篆の典型ともよばれていますが、だれが何を目的にだれに書かせたものか調べて説明してください。P10 参考にしてください。
- ③ P10～P11を鉛筆で臨書してください。



- ④ 「石鼓文」は、大篆の代表に数えられる書ですが、何時代に発見されどのような内容が記されたものでしょうか。P12を参考にして説明してください。
- ⑤ P12～P13を鉛筆で臨書してください。



- ⑥ 「泰山刻石」と「石鼓文」を比較して違いや気付いたことを自由に書きましょう。

以上です。ノートやルーズリーフなどA4サイズの手紙に記入して授業再開後の最初の授業で提出してください。